

Off Campus Times

目次

編集部より	1
第2タームプログラム実施報告	2～4
オープンキャンパス実施報告	4
学外学修・キャリアセンターからのお知らせ	4
学外学修・キャリアセンター利用案内	4

編集部より

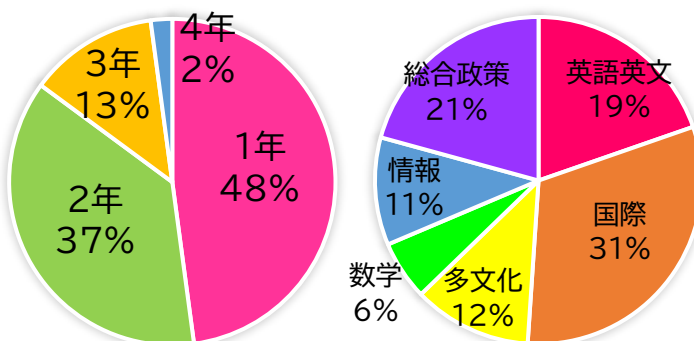
9月に入り、第三タームが始まって元気な顔がキャンパスに戻ってきました。今年も夏の間、学生たちは様々なプログラムを通して、普段の大学生活では得られない貴重な経験と学びの機会を頂きました。学生を受け入れてご指導下さった企業様、国内外の多様な現場に学生を迎え入れ、安全な学びの機会を提供して下さいました団体様に心より感謝申し上げます。

今年は、2017年に学外学修・キャリアセンターが発足してから10年目の節目を迎えました。第2タームを活用して大学の外で学ぶ津田塾の伝統はしっかり受け継がれています。津田塾の学外学修の特長は、なんといっても一年生の参加です。この夏はセンター主催のプログラムに参加した189名のうち、1年生は90名に上りました。それが実現できたのは、自分たちの経験と共有し、後押ししてくれる上級生の存在です。入学後すぐのオリエンテーションでは、先輩が大学の外に活動を広げる面白さ、尊敬できる大人との出会い、学外で得た視点や知識と大学の学びの循環など、自身の一年生の時の経験を直接伝えます。今年も6人の2年生・3年生がオリエンテーションで話してくれましたが、1年生たちは途中から顔を上げて、自分ならどの一歩から踏み出そうかと考える顔つきに変わる様子がありました。もう一つの先輩からの後押しは、過去9年間蓄積された学外学修の体験談が学内で公開されており、津田塾生なら誰でも見ることができると。どこで何をどのように行い、何を学んだのか。長い時間をかけて集まったこの「実践知」の共有は、これからも大切にしていきたい財産です。

アウェイに飛び込むことはとても不安です。つい数か月前まで高校生だった1年生にとっては、春はまず大学生活に慣れる段階ですから、学外の活動にまで目をむけることは簡単なことではありません。それでもなんとか行動を起こした先で、新たな知識を得ながら挫折や葛藤を経験し、答えのない問いにぶつかり、自分の限界を感じ、試行錯誤を繰り返します。その過程で自分軸だけだった視点に他人軸が加わり、それまで見えなかったものが見えてきます。「景色が変わる」または「殻を破る」経験です。ただ、「殻を破る」は、具体的経験をするだけではおこりません。具体的経験を振り返り、様々な視点から内省して、その気づきから自分なりのセオリーに落とし込む作業のなかでおこります。キャンパスに戻って仲間と共にこの経験学習サイクルを回す作業を行うと、また次の挑戦が見えてきます。これからもセンターは、学生の挑戦を後押しして、学内の学びのバトンをつなぎ、学生一人一人が自立した学習者として走りつづけることを支援していきたいと思えます。

(学外学修・キャリアセンターUEA 隈元忍)

第2タームプログラム実施報告



センター主催プログラム参加者内訳
(15プログラム・189名)

学外学修・キャリアセンター主催の「津田塾プログラム」を15プログラム(国内11、海外4)開講し、合計189名が参加、1・2年生が全体の86%を占めました。このほかにスキルアップのための講座「プレゼン資料作成講座」「アイデア発想ワークショップ」及び低学年向けのキャリア授業「1、2年生のための就職基礎講座」と、履修申請して外部のプログラムに参加した学生も合わせると、合計441名がこの夏、学外学修・キャリアセンターが関わるプログラム・講座に参加したことになります。海外渡航した33名は、アジア6か国・欧米5か国の11か国で、環境保護や教育の現場でのボランティアやインターンシップ、海外大学のサマースクール等に参加しました。

学外学修・キャリアセンター主催プログラム

日本航空PBL（課題解決型学修） JALの翼で、地域の物語を世界に届けよう

社会課題の解決策としての地域活性化について、JALの新たな事業を提案するPBL。25名が参加。1日目は羽田地区を訪問しオペレーションセンターや格納庫等の施設を見学。
2・3日目は千駄ヶ谷キャンパスにて開催。

Webサイトに
実施レポート掲載



【参加者の声】

- 企画はアイデアだけではなく、根拠や具体性を持たせることが重要であると実感した。
- 社員の方々から実践的なフィードバックをいただくことで、自分に不足している視点や考え方に気付くことができた。

株式会社インダ インターンシップ

はかりの世界トップシェア企業インダによる5日間プログラム。食品業界とインダの事業について学び、社員になりきり課題解決を提案する。14名が参加。



【参加者の声】

- インダが果たす「高い社会貢献度」と、食品流通のインフラを力強く支えるBtoBビジネスの影響力の大きさが印象に残った
- インターンシップで得た「三方良しの視点」「熱量と戦略の両立」「コト売りの課題解決アプローチ」を、今後の大学での学修および将来のキャリア形成に活かしていきたい。

三菱電機 国際本部 インターンシップ

三菱電機が取り組むグローバル事業の事業分析を行い、分析に基づく戦略立案、課題解決提案を行う10日間のインターンシップ。2026年度は、三菱電機のテクノロジー・アセットを活用してインドの社会課題を解決する提案を、インド拠点とも繋いで英語で実施。



【参加者の声】

- ソリューション事業に必要な分析の進め方、ビジネスを考える際に着目すべき点など、社員の方々から日常の業務で用いている分析手段や思考方法を学べたことは、自分を一段階成長させてくれた。
- 社会課題に対して技術を当てはめるだけではなく、地域や利用者のニーズを理解した上で事業として成立させることの重要性を学んだ。

パソナ・グループ インターンシップ

人材派遣会社パソナグループでの10日間のインターンシップ。同社の「人を活かす」様々な事業での就業体験やリサーチ等を通じ、大学での専門領域の拡大・深化を図る。グローバル事業部等にて受け入れ頂き、ビジネスマナーやプレゼンススキル研修、OG社員座談会なども実施。



【参加者の声】

- 働くことを通じた社会貢献の方法について学び、どのように働きたいのかのイメージを得ることができました。
- どのようなニーズや社会の課題をもとに（主に官庁に）提案を行っているのか、実践を通して学ぶことができた。
- 「学生」という立場からではなく、「民間企業」という立場から提案を考えるというのは、大学内の授業ではできない見方であり、興味深かった。

JTP株式会社 インターンシップ

ITエンジニアの補佐として、実際に現場の先輩社員と業務を体験する9日間のインターンシップ。過去にはソリューション開発プロジェクト、レコメンド系 AI 調査、LINE アプリ開発、ChatGPT に関する調査等を実施。今回はAIを活用したソリューション開発の業務を体験。



【参加者の声】

- 大学で学ぶ情報科学の知識が、実際の社会課題を解決するための手段として活用されていることを実感した。
- 技術そのものを知っているだけではなく、「その技術を使って誰のどのような課題を解決するか」を考えることが重要だと学んだ。

富士通グループ Job Experience 2days Workshop

富士通グループによるオンライン2日間の業務体験プログラム。ICT業界や、SE（ソリューションエンジニア）の職種をグループワークを通じて理解し、自分の適性・志向を見つけることを目指すワークショップ。



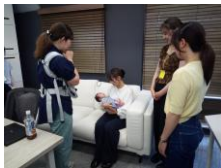
【参加者の声】

- 実際の業務に近い形で要件整理から提案までを体験でき、SEの仕事への理解を深めることができた。
- SEは「高度なITスキルを用いて画面と向き合う仕事」というイメージがありましたが、実際には「顧客の抱える課題の本質を深掘りし、多くの人を巻き込みながら共にビジネスを拡大していく仕事」なのだと学びました。

学外学修・キャリアセンター主催プログラム

ワーク＆ライフ インターン

キャリアだけでなくライフの側面からも将来を真剣に考えるワークショップ形式のプログラム。就活に直面する前に自分の将来像をより具体的に描く。今年度は豊通ケミプラス様のオフィスを訪問、卒業生の社員の方からお話を伺う。ご家庭での子育て体験実習も実施。



〔参加者の声〕

- このプログラムに参加して、働き方は多様な選択肢があることや子育ての手助けとなるサービスの充実も進んでいることを知った。
- 実際に家庭に訪問できるのがすごくよかった。
- いろんな方との関わりがあり、短い時間の中でこんなにも価値観や考え方の幅が広がるのかと思う程、自分の考えが広がる経験ができた。

ブリヂストンソフトウェア 1 Dayプログラム

ブリヂストングループにシステムを提供している同社で、SEの上流工程の業務体験や、情報サービス業界について学ぶ1日ワークショップ。今年度2回目の実施。女性社員の方々とのお話会も実施。



〔参加者の声〕

- ITインフラへの興味が深まったのと同時に「働く女性像」が鮮明になり、自分の将来に希望を抱けるようになりました。
- 実際に働いている社員さんに直接質問できて、ブリヂストンの仕事の実情がわかって良かった。
- 自分軸を持つための選択肢が増えたと感じた。

戸田建設 1 Dayプログラム

Webサイトに
実施レポート掲載

小平キャンパス新2号館を建設する戸田建設の本社を訪問し、建設業界の仕事について学ぶ、今年度が初開催のプログラム。レゴを使った校舎建設ワークショップ、女性社員との座談会等を実施。



〔参加者の声〕

- 建設業に関するイメージが180°変わるプログラムとなった。
- 建設業は男性が多いのかなという印象を持っていたが、ワークライフバランスが社会の変遷とともに整えられた話が興味深かった。
- 戸田建設さんの事業内容について知れたことと異なる場面で働かれている3人の方のお話が直接細かいところまで聞けたことが良かった。

中川特殊鋼 1 Dayプログラム

Webサイトに
実施レポート掲載

ものづくりをグローバルに支えている独立系鉄鋼商社で、グループワーク等を通じて商社のビジネスモデルについて学ぶ、今年度が初開催のプログラム。営業職の仕事を体験する仕事理解ワークショップ、社員の方への質問会など実施。



〔参加者の声〕

- グループワークで、商社の実際の仕事の体験をすることができ、商社の漠然としていたイメージが固まり、とても意義のある経験になった。
- 商社の特徴や強み、B to Bビジネスについて詳しく知れたのが良かった。
- 色々な場所から情報を得ることで、自分が多角的な視野を持つことを忘れないように大学生活を過ごしたいと思った。

米国テキサス語学&キャリア研修

テキサス州ダラス近郊の大学(UNT)附属語学学校で4週間、実践的な英語力を鍛え、グローバルなキャリアについて学ぶプログラム。米国・日系企業3社を訪問したほか、米国NPO法人JCW主催のキャリアイベントや現地大学生(UTD)との交流を実施。



〔参加者の声〕

- 企業訪問では、日本とは異なる企業文化や働き方に触れ、グローバルな環境で働くことへの関心がさらに高まった。
- 約1ヶ月間、毎日英語でコミュニケーションを取り続けたことで、英語で話す際に間違えることが怖かったが、英語で話すことへの抵抗感がなくなった。
- 世界中から集まった学生との交流を通して、英語は教科として学ぶものではなく、人とつながるための手段であることを実感した。

マレーシア日本国際工科院 (MJIT) サマープログラム

マレーシア日本国際工科院 (MJIT) で開講されるサマープログラム。英語でマレーシア文化やSDGsについて学んだり、現地の学生との交流機会を通じて、英語でのコミュニケーションや多文化理解を学ぶプログラム。



〔参加者の声〕

- 日本で当たり前だと思っていたことが、必ずしも他の国では当たり前ではないことを実感し、自分がこれまで持っていた「普通」という考え方を見直すきっかけになった。
- 現地のパティからマレーシアの文化や生活について教えてもらったことは、とても貴重な経験だった。

モンゴル・日本人材開発センター インターンシップ

日本政府の支援を通じて設立された日本とモンゴルの交流促進等のために活動している機関でのインターンシップ。日本語教育や日本とモンゴルの企業を繋ぐ業務経験。

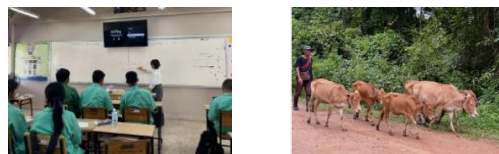


【参加者の声】

- ・日本とは異なる環境の中でも、最初から正解を求めるのではなく、まず行動してみる姿勢が身についたと感じている。
- ・最初から完璧にできるかを考えるのではなく、まず自分から行動してみることの大切さを学んだ。

国際労働財団(JILAF)タイ事務所 インターンシップ

労働分野における国際交流と協力を推進するNGO・NPO組織でのインターンシップ。国際労働財団タイ事務所での業務補佐の他、自主的な調査も可能な約1か月にわたる長期インターンシップ。



【参加者の声】

- ・JILAFが行う人々の組織化を中心とした非物質的支援が、どのようなスキームの元で企画・実行されていくのかを、インターンとして参与的に学べたことが貴重な経験となった。
- ・タイ国内の移民問題に触れる機会も多くあり、「国際的な労働問題」をかなり具体的に捉えられた。

オープンキャンパス

6月21日・7月12日・8月8日 @小平キャンパス 7月5日・8月2日 @千駄ヶ谷キャンパス



夏のオープンキャンパスでは、「キャンパスをこえた学びとキャリア支援」と題して、津田塾大学の特徴の1つである第2タームと学外学修の概要、これまでの学生の学び、キャリア支援について紹介しました。

各回で学外学修経験者の学生が登壇し、学外学修を通じて学んだことや、今後の学生生活・卒業後の進路を考えるうえでどう生かされたかについて、自分の言葉で語ってくれました。多くの高校生と保護者の方々が参加くださいました。

【参加者の声】

- ・ギャップタームを利用して1年生から学外研修ができることにとても魅力を感じた。
- ・学外学修がとても充実しており、キャリア支援も手厚いことが印象的だった。
- ・実際の在学学生の方のお話を聞くことが出来て、さまざまな選択肢のイメージが広がった。

学外学修・キャリアセンターWebサイト

プログラムや講座の実施レポート、卒業生・在学生へのインタビュー記事、学生による体験談などを掲載しています。



<https://offcampus.tsuda.ac.jp/>

◆学外学修・キャリアセンター窓口について

場所：小平キャンパス7号館 1階 7103

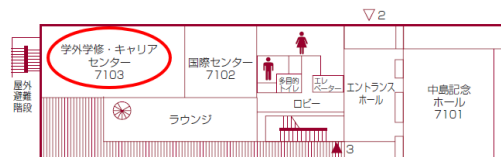
千駄ヶ谷キャンパス 1階 SA107

開室時間：9:00-16:00(お昼休11:15-12:15)

お問合せは、問合せフォーム(右記QRコード)からお願い致します。

面談はオンライン・対面にて主にお昼休みに実施しています。
フォームからお申込みください。千駄ヶ谷キャンパスも同様です。

問合せフォーム
(面談予約)はこちら↓



小平キャンパス 7号館